

## 日本版DMO形成・確立計画

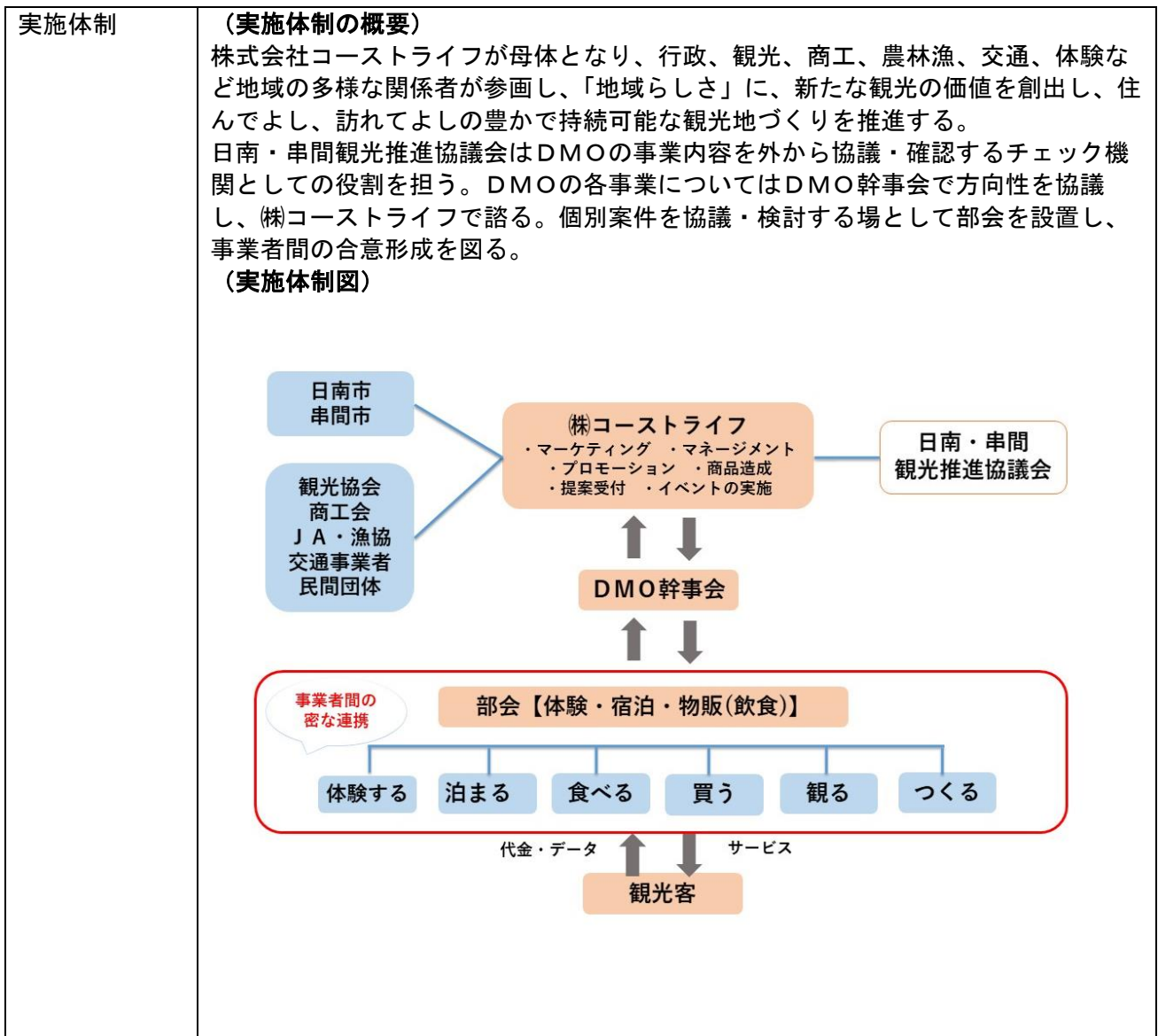
## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・ <del>地域連携DMO</del> ・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	株式会社 コーストライフ	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	宮崎県日南市南郷地区、宮崎県串間市市木・都井地区	
所在地	宮崎県日南市南郷町中村乙 4178-1 日南市栄松ビーチ・管理事務所内	
設立時期	平成 29 年 9 月 1 日 (登記)	
職員数	4 人	
代表者 (トップ人材: 法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 松尾浩治 (出身組織名) ・特定非営利活動法人なんごうオーシャンネットワーク ・ホテル丸万	ホテル丸万の経営やNPO法人なんごうオーシャンネットワークでのシーカヤックの運営等、地域の観光産業をけん引してきた。地域資源や観光産業の構造やプレーヤーに精通しており、経営経験も長い。「魚うどん」等の地域特産品の開発・販売拡大の実績もあり、新規事業立ち上げにも理解・実力を有する。
各種データの分析・収集等 (マーケティング) の責任者 (専門人材)	(氏名) 田中 直人「専従」 (出身組織名) 株式会社コーストライフ	長年にわたりホテル等の観光業に従事。NPO法人なんごうオーシャンネットワークの設立から事務局を務める。様々な分野での経験で培ったネットワークは広く、観光地域マーケティングにおいても知見を持つ。
プロモーション、商品造成の担当者 (専門人材)	(氏名) 山口 由香梨「専従」 (出身組織名) 株式会社コーストライフ	プロモーション、商品造成にかかわる専門人材として採用。情報発信や観光素材の掘起しにおいて、新たな感性で能力を発揮することが期待できる。
DMO全体のマネジメント・アドバイザー	(氏名) 内田 有映 (出身組織名) アソビュー株式会社	コンサルティング会社ならびにベンチャーの創業を経て、現職。日本全国の自治体ならびに体験事業者向けに、体験事業者の育成、情報発信、マーケティング調査、インバウンド支援など、生活者視点を基軸にした企画に幅広く従事。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	宮崎県日南市 総合戦略課 宮崎県串間市 商工観光スポーツランド推進課	
連携する事業者名及び役割	日南市観光協会・串間市観光物産協会 (観光事業者との連携) 日南市旅館業組合・串間市旅館組合 (宿泊業) 串間エコツーリズム推進協議会・大島プロジェクト会議 (体験商品の企画販売)	

(別添) 様式 1

	<p>はまゆう農業協同組合・南郷漁業協同組合（農林漁業者との連携）          日南商工会議所・串間商工会議所・南郷町商工会・北郷町商工会（商工業者との連携）          九州旅客鉄道(株)・宮崎交通(株)（二次交通機関、旅行商品の企画販売）          アソビュー(株)（体験商品の企画販売）</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（該当する要件）          ③日本版DMOの取組みに関する諮問機関として、行政や関係団体で構成される「日南・串間観光推進協議会」をDMOと別に設置。          （概要）          ③多様な関係者が参加する部会を設置するほか、日常的な調整、連携、情報共有を図るための実務者レベルで行うDMO幹事会を開催。</p>
<p>地域住民に対する観光地づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>地域の様々な事業者や地域住民が参加できる交流会を開催し、観光地域づくり推進の取組みへの啓発や参画促進を図った。          また、事業者育成に向けた「着地型観光商品開発セミナー&amp;ワークショップ」を開催している。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>（活動の概要）          平成 28 年度からの日南串間地域連携DMO立ち上げ協議会の流れを踏まえ、平成 29 年 9 月 1 日にDMO候補法人として設立</p> <p>○平成 29 年度          DMOの目標を達成するための組織づくり、収益基盤の検討、情報発信の環境整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域事業者説明会の開催</li> <li>・先進地視察の実施（豊の国千年ロマン観光圏、高千穂町観光協会）</li> <li>・観光資源の評価、今後の検討材料収集のためのモニターツアーの実施</li> <li>・対象地域の情報発信基盤となるサイト「ほっと！にちなんくしま」の制作</li> <li>・HPの認知度を上げるためにWEBサイト外部広告を試験的に実施</li> </ul> <p>○平成 30 年度          DMOの組織強化、自走に向けた基盤整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者交流会の実施、協議会、幹事会、部会の設置</li> <li>・宮崎交通・JR九州と連携したモニターツアーの実施</li> <li>・WEBサイトへの誘導強化（外部広告、コンテンツの充実）</li> <li>・体験型商品のVRコンテンツによる一元的プロモーションの実施</li> <li>・事業者育成のための体験型観光商品開発セミナー、ワークショップの開催</li> <li>・地域資源を活用した新たな商品造成（都井岬での周遊型謎解きゲーム、大島ウォーキング等）</li> <li>・インターネットパネルを活用した各種データ収集・分析、目標数値の検討</li> </ul>

(別添) 様式 1



## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

宮崎県に訪れた観光客は高千穂・青島・また日南の鶴戸神宮・飫肥地域の主要な観光スポットを訪れることが多いが、旧南郷町以南へ足を運ぶに至らない割合も多くあった。一方、この地域には海にまつわる自然や食も豊富で、コンセプト次第で非常に魅力的な旅行体験を提供できるポテンシャルを持った地域である。従来の宮崎県観光ルートのみならず、未だ知らない宮崎の魅力を再定義し、発信する上で、本地域が可能性に満ちた地域であるため、該当対象地域を設定した。

【観光客の実態等】

○延べ宿泊者数

(単位：人)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
南郷地区	20,351	22,165	23,089
市来・都井地区	1,441	1,953	2,009
計	21,792	24,118	25,098

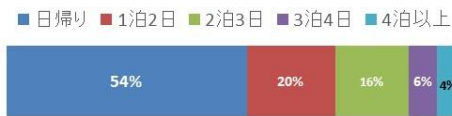
▲日南市（全域） ※対象地区のみの調査は平成 30 年度実施

○総括

- ・宮崎県内在住者（特に宮崎市内在住者）のカップル or 夫婦が2名で自家用車を使って日帰りで遊びに来る
- ・来訪者では、リピーターが74%と多く、リピーターのうち約半数は1年以内に日南市を訪問。
- ・来訪目的は、宮崎県内は「食事・料理を楽しむ」人が多く、九州など宮崎県外は「観光スポット」が多い。

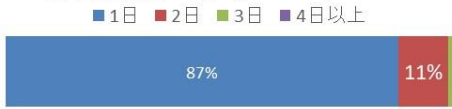
(別添) 様式 1

旅行日数 (n=800)



平均旅行日数: 1. 87日

日南市内旅行日数 (n=803)



平均旅行日数: 1. 15日

日南市滞在時間 (n=700)



平均滞在時間: 2. 86h

来訪回数 (n=799)

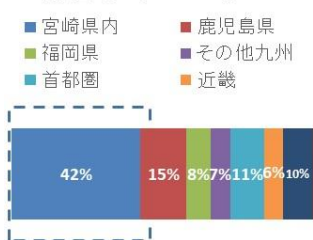


前回来訪時期 (n=555)



※集計ベース: 日南市への訪問回数が2回以上の来訪者

居住地 (n=806)



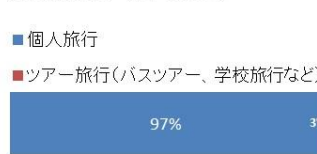
宮崎県内居住地 (n=340)

居住地	割合
1 宮崎市	48%
2 都城市	32%
3 小林市	4%
4 串間市	3%
5 延岡市	3%
6 その他	10%

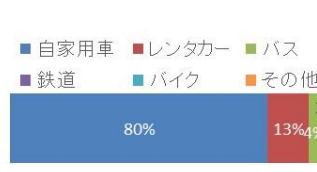
旅行人数 (n=795)



旅行形態 (n=802)



交通手段 (n=801)



同行者構成 (n=1082、MT=137%)



出典: 「H29年度 日南市観光実態調査 最終報告書 (2017年3月)」

4拠点(鶴戸神宮、飫肥城、港の駅めいつ、道の駅酒谷)で面接調査

期間: 第1期(7/29)、第2期(9/23)、第3期(11/19、11/26、12/3)、第4期(2/10、2/12)の7日間で実施

▼串間市(全域) ※対象地区のみの調査は平成30年度実施  
 <主要観光地の入れ込み客数>

- ・都井岬...95,989人
- ・串間いこいの里...44,498人 (H29.9~12月は休館)

出典: 「平成29年1月~12月 観光客入込客数」

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

=自然=

- ・ 美しい海岸（石波海岸－日本の渚百選）
- ・ 都井岬／野生の馬
- ・ 馬や猿の観察
- ・ 島（大島・築島・幸島）
- ・ 恋ヶ浦（ネーミング・サーフィンスポット）
- ・ 夫婦浦（ネーミング）
- ・ 栄松ビーチ
- ・ 幸島：野生の猿
- ・ ソテツの自生地（最北端）
- ・ ジャカランダ（世界三大花木）
- ・ 温暖な気候

=食=

- ・ 新鮮な海の幸が豊富
  - － 宮崎県で一番のカツオ水揚げ量（目井津港）
  - － 日本一のカツオ船団の基地
- ・ カツオ/マグロ
  - － 近海カツオ一本釣り漁獲量日本一
- ・ イセエビ（8種類）
- ・ トビウオ料理
  - － あごだし
- ・ マンゴー
- ・ 柑橘類（キンカン・デコボン）
- ・ 魚うどん
- ・ 美々鱻

=体験=

- ・ マリンスポーツ
  - －サーフィン・シーカヤック・ダイビング・SUP
  - －サーフィンを楽しめるスポットが多い
  - －恋が浦・梅ヶ浜
- ・ サイクリング
- ・ 釣り・フィッシングポイント
- ・ とび魚すくい
- ・ 海中観光船（マリンビューワー）
- ・ 観光定置網漁
- ・ 野生馬ガイド・馬ふん紙づくり

=文化・イベント=

- ・ 鞍崎灯台（明治17年建設）
- ・ カツオの一本釣り
- ・ 御崎神社
- ・ 都井岬灯台（九州唯一の拝観灯台）
- ・ うすだいこおどり
- ・ 野焼き
- ・ かつお一本釣り文化
- ・ 馬追い（年に1度）
- ・ 榎原神社（縁結び）
- ・ 火祭り（都井岬）

(別添) 様式 1

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

※平成 29 年日南市観光・スポーツ課調べ

＜日南市＞

宿泊施設数：32 施設（収容人数：1,592 名）

のべ宿泊者数：170,193 名

＜日南市南郷地区＞

宿泊箇所：8 施設（収容人数 342 名）

のべ宿泊客数：23,089 名

※平成 29 年串間市商工観光スポーツランド推進課調べ

＜串間市＞

宿泊施設数：17 施設（収容人員 352 名）

のべ宿泊者数：21,875 名（宿泊実績値が分かる 8 施設分の累計）

＜串間市市木・都井地区＞

宿泊箇所：9 施設（収容人員 147 名）

のべ宿泊客数：1,441 名（宿泊実績値が分かる 4 施設分の累計）

【利便性：区域までの交通、域内交通】

＜自家用車・レンタカー＞

- ・宮崎空港より車で 1 時間半～2 時間
- ・鹿児島空港より車で 1 時間半～2 時間
- ・福岡市中心部から車で 4 時間半～5 時間（九州自動車道経由）

＜公共交通機関＞

- ・宮崎空港より電車で 2 時間～2 時間半（JR 日南線）
- ・宮崎空港よりバスで 2 時間程度

【外国人観光客への対応】

下記の通りインバウンド対応を行っている。

- ・サインの多言語化
- ・多言語マップの作成
- ・各宿泊施設・店舗や主要公共スポットの Wi-Fi 整備
- ・一部地域事業者にて英語対応

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
（例）住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	アンケート調査を自主事業として実施。
福岡県からの来訪者数・属性・リピート率・消費額	ターゲットの集客施策の検証を行うため。	統計調査を実施。
福岡県からの来訪者における来訪動機	上記同様	造成したプログラム参加者・宿泊施設等でアンケート調査を実施
福岡県における当該地域に対するイメージ	ブランディング・PR 戦略の効果検証を行うため。	福岡県内ターゲット層に向け WEB 調査等
体験プログラム参加者数・満足度	造成したプログラムの品質評価・改善分析を行うため	プログラム参加者に対するアンケート調査

## 4. 戦略

## (1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p><b>【食】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新鮮な海の幸が豊富 <ul style="list-style-type: none"> <li>-カツオの水揚げ量が日本一</li> <li>-日本一のカツオ船団の基地</li> <li>-マグロ</li> <li>-イセエビ（8種類）</li> <li>-トビウオ料理（あごだし）</li> <li>-魚うどん</li> <li>-カツオ炙り重</li> <li>-ぶりぶり井ぶり</li> </ul> </li> <li>マンゴー</li> <li>柑橘類（キンカン・デコポン）</li> </ul> <p><b>【自然】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美しい海岸線（石波海岸・日南海岸）</li> <li>世界的にも珍しい野生動物の生息域（都井岬：御崎馬、幸島：猿）</li> <li>ジャカランダの花木</li> <li>大島・幸島・築島</li> <li>温暖な気候</li> </ul> <p><b>【体験】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資源を活かしたマリンスポーツ <ul style="list-style-type: none"> <li>-シーカヤック・サーフィン・ダイビング</li> <li>-サーフィンを楽しめるスポットが多い <ul style="list-style-type: none"> <li>-恋が浦、梅ヶ浜</li> </ul> </li> <li>-トビウオすくい</li> <li>-サイクリング</li> <li>-海中観光船（マリンビューワー号）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【文化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火祭り、馬追い（都井岬）</li> <li>榎原神社（縁結び）</li> </ul> <p><b>【歴史】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南郷城跡</li> </ul>	<p><b>弱み (Weaknesses)</b></p> <p><b>【エリア特性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の利便性の低さ</li> <li>通過型の観光地になっている</li> <li>宮崎空港から遠い（車で1.5時間）</li> </ul> <p><b>【エリア内インフラ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊施設の不足</li> <li>飲食店の不足</li> <li>インバウンド客に対する受入体制未整備</li> <li>サイクルスタンドの不足</li> </ul> <p><b>【観光資源】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明確な土産・物品がない</li> <li>首都圏から認知度が低い</li> </ul> <p><b>【集客施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通年でのイベント不足</li> <li>新しい集客イベントがあまりない</li> </ul> <p><b>【プロモーション施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディアでの情報発信が足りない</li> <li>ウェブを活用した発信力が弱い</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の接客レベルが低くクレームが発生している（飢肥エリア等）</li> </ul>
外部環境	<p><b>機会 (Opportunity)</b></p> <p><b>【交通アクセス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺県へのLCC就航（鹿児島～対象地域まで車で2時間程度）</li> <li>関西～宮崎のLCC（ピーチ・アビエーション）の開通</li> <li>台湾～宮崎にチャイナエアラインが開通</li> <li>東九州自動車道の開通</li> <li>16万トン級のクルーズ船が油津港に寄港</li> </ul> <p><b>【観光客（顧客）視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州へのインバウンド客（東アジア客）の増加</li> <li>宮崎県への訪日外国人は前年比3割程度の伸び率</li> <li>若者の地方移住者の増加（地方創生・Iターン・Uターン化）</li> </ul> <p><b>【スポーツ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催</li> <li>プロ野球（広島東洋カープ・埼玉西武ライオンズ）のキャンプ地</li> <li>Jリーグ（横浜FC）のキャンプ地</li> </ul>	<p><b>脅威 (Threat)</b></p> <p><b>【交通アクセス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州内観光の福岡への一極集中</li> <li>東京からのLCC（国内外問わず）が直接就航している地域が多数存在</li> <li>九州新幹線の開通（九州在住観光客が鹿児島・熊本に流れる可能性）</li> <li>台風の影響により国道448号通行止め</li> </ul> <p><b>【競合視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内よりも「身近な海外」志向の高まり</li> <li>LCCにより安価で海外・沖縄等に行ける</li> <li>類似した観光資源を持つ他地域（海岸線・サーフィンスポットなど）が多数存在</li> </ul> <p><b>【観光客（顧客）視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内旅行需要の停滞</li> <li>宮崎＝常夏のイメージによる、夏季観光への偏り</li> <li>世帯収入減少による消費額の低下</li> </ul> <p><b>【マクロ環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化の進行</li> </ul>



(別添) 様式 1

## (2) ターゲット

### ○第1ターゲット層

福岡県のニューファミリー層 (3~15歳の子供がいる世帯)

#### ○選定の理由、

九州圏の観光客は自家用車での九州内旅行の頻度が多い。自家用車で来訪可能かつ教育に関心があり、可処分所得が年間100万以上あるファミリー層が多いのが、福岡県であると考えた。また、大手企業の九州支店が福岡県にある場合が多いため、本社所在地の大都市圏に対しても口コミ機能を果たす可能性を見込んでいる。

※来訪形態

#### 【地域別】

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
宮崎県	53%	40%	43%	38%
鹿児島県	12%	15%	14%	17%
福岡県	9%	10%	6%	11%
その他九州	9%	11%	5%	11%
関東	9%	11%	13%	11%
関西	-	5%	8%	4%
その他	8%	8%	11%	8%

#### 【交通手段】

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
自家用車	81%	75%	80%	82%
レンタカー	7%	12%	13%	10%
バス	2%	8%	4%	3%
鉄道	1%	1%	1%	2%
バイク	5%	4%	2%	3%

#### ○取組方針

子供の教育に関心が高く、上質だと考えるプログラムや商品には一定消費意欲があるニューファミリーに対し、「日常では子供に味わわせられない、特別な教育機会」を提供する地域として認知・訪問意欲喚起を図る。

### ○第2ターゲット層

隣接県・宮崎県のニューファミリー層 (3~15歳の子供がいる世帯)

#### ○選定の理由

ターゲットイメージに関しては第1ターゲットと同様だが、より移動距離が短いことによる訪問ハードルが低いのが近隣及び県内ファミリーだと考え、設定。一方で平均所得・総世帯数に関しては福岡県を下回るため、プログラム自体への参加ハードルが上がることから、対象母数が低下するため、第2ターゲットとしている。

#### ○取組方針

基本的には第1ターゲットと同様。

### ○第3ターゲット層

訪日外国人観光客 (クルーズ船・宮崎空港経由)

#### ○選定の理由

油津港には平成27年3月の岸壁拡張等の受入整備後から、クルーズ船の寄港数も増え、中国人観光客を中心に多くの観光客が訪れている。また、宮崎空港でも韓国からLCC、台北・香港の国際線も就航しており、アジアからの来訪者も多い。県も油津港へのクルーズ船寄港を増やそ

(別添) 様式 1

うと、「ファーストポート」に向けた環境整備を打ち出している。2019 年度夏のファーストポート化を目指している。中国市場の縮小などで平成 30 年度の実績は落ち込んでいるが、クルーズ船の寄港は経済効果が大きく、検疫業務等の環境が整えば、さらなる交流人口の拡大と観光消費額の増加が期待できるため、第 3 ターゲットとしている。

※クルーズ船実績

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
寄港回数	10 回	20 回	26 回	11 回
来訪者数	27,952	79,779	105,363	37,812
(内) 乗客	20,056	57,410	76,044	27,186
(内) クルー	7,896	22,369	29,319	10,626

○取組方針

インバウンド客を受入れるための課題は、クルーズ船経由の来訪者が日南観光で困ったこととして、「Free Wi-Fi がない」、「案内板（多言語化）がない」、「観光情報がない」、「クレジットが使えない」「免税店がない」など受入環境整備を求めている。域内の課題として自治体・事業者・DMO 等が連携し取り組んでいく。「国土交通省・平成 29 年度地域資源を活用した観光地魅力創造事業」における調査結果を参考に今後の施策を検討していく。

(3) コンセプト

①コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズ・アドベンチャー</li> <li>・冒険王国</li> <li>・アウトドアキッズ</li> </ul> (名称精査中)
②コンセプトの考え方	自然豊富で無人島に近い状態の大島、その周辺の海洋生物の豊富なダイビングスポット、幸島の猿や都井岬の御崎馬といった野生生物等、子供たちにとって今までテレビでしか見たことがなかったような大自然と生物に実際に触れながら、自主的に学ぶ楽しさを提供できるのは、この地域の資源の他にはない稀有な魅力である。 それを最大限活かし、作り物でない、本物の大自然エンターテイメント学習テーマパークを創生、「日常では絶対に見られない子供の顔」を引き出す場所として認知浸透を図る。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	DMO を中心として、地域の主要事業者による協議会を年 1 回以上開催し、コンセプトに基づく施策の計画と成果、次期の展開を共有し、協力体制の構築強化を図る。 また、協議会以外の地域事業者には皆が集まり情報交換・連携を図れるような部会・幹事会を設置し、個別案件や地域の課題を協議し今までできていなかった地域間の情報交換や観光商品開発等で連携を図る。

(別添) 様式 1

観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	定点的に対象エリアを基にした観光動向調査を実施し、満足度とその要因などを把握。 また、DMO を通じて提供する観光商品・サービスにも満足度などを測定するためのアンケートを実施。内容を受けて四半期に1回を目途に提供商品・サービスの向上施策計画の立案、運用、検証を行う。
一元的な情報発信・プロモーション	自社 HP/各種提携サイト (asoview!等) を活用し、ターゲットに適切なプロモーションを実施する。また、その内容はデータを元に分析・考察し、プロモーション手法についても計画・運用・検証・改善のサイクルを実行する。

**6. K P I (実績・目標)**

**(1) 必須 K P I**

指標項目	単位	2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度)	2020年 (H32年度)
●旅行消費額	円	日南市全域： 2,240円	日南市全域： 2,677円	日南市全域： 2,063円	日南市全域： 1,923円	日南市全域： 2,540円	日南市全域： 2,690円
●延べ宿泊者数	人	21,792人	24,118人	25,098人	22,012人	22,152人	22,292人
●来訪者満足度	%	非実施	非実施	非実施	72%	75%	75%
●リピーター率	%	日南市全域： 75%	日南市全域： 69%	日南市全域： 74%	日南市全域： 74%	日南市全域： 75%	日南市全域： 75%

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

<p><b>【検討の経緯】</b> 平成 29 年度日南市観光実態調査の指標を旅行消費額については活用。延べ宿泊者数については両市の独自調査の指標を対象エリアに限定し使用。また、来訪者の満足度を高め、来訪回数を増やすことが当地域にとっての地域活性化につながると判断するので、来訪者満足度、リピーター率を加えた 4 項目を目標数値として設定する。 現状では日南市観光実態調査を基に目標数値を設定しているため、全対象エリアの旅行消費額や増減理由については分析できていない。また、平成 30 年中に全対象エリアにおいてインターネットパネルを活用した自主調査を実施しデータ分析を行い、平成 31 年から旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率等の目標値の設定をしたい。</p> <p><b>【設定にあたっての考え方】</b></p> <p>●旅行消費額 日南市観光実態調査の数値を使用。</p> <p>●延べ宿泊人員 日南市観光実態調査の数値並びに自主調査した数値を使用。年によってスポーツ関連の合宿等で人員に偏りがあるがそれを反映させたうえで目標値を設定しデータの分析をする。</p> <p>●来訪者満足度 平成 30 年に自主調査でインターネットパネルを活用し聴取する。そのデータを基に平成 31 年以降の目標値を設定する。</p> <p>●リピーター率 日南市観光実態調査の数値を使用。「●来訪者満足度」と同様に自主調査実施後に平成 31 年以降の目標値を設定する。</p>
---

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

指標項目	単位	2015年 (H27年度)	2016年 (H28年度)	2017年 (H29年度)	2018年 (H30年度)	2019年 (H31年度)	2020年 (H32年度)
●福岡県構成比率	%	日南市全域： 9%	日南市全域： 10%	日南市全域： 8%	日南市全域： 11%	日南市全域： 10.5%	日南市全域： 11%
●子供連れ比率	%	日南市全域： 24%	日南市全域： 22%	日南市全域： 23%	日南市全域： 26%	日南市全域： 26%	日南市全域： 27%
●日帰り観光客 市内滞在時間	%	日南市全域： 3.7時間	日南市全域： 2.7時間	日南市全域： 2.9時間	日南市全域： 3.0時間	日南市全域： 4.0時間	日南市全域： 4.3時間
●体験プログラム 数	件	非実施	非実施	5	12	25	30
●体験プログラム 利用者数	人	非実施	非実施	非実施	1,337	3,000	4,000

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

<p><b>【検討の経緯】</b> 平成 29 年度日南市観光実態調査から来訪者の 9 割近くが日帰り、リピーター率も 7 割を超えることから、来訪者の滞在時間を延ばすことが重要であると考え。この地域の特徴である自然環境を活用した体験プログラムを中心に、観光分野以外も含めた民間団体・企業と連携した新規コンテンツを開発することを目標にする。</p> <p><b>【設定にあたっての考え方】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県構成比率 平成 29 年度日南市観光実態調査の指標を活用。「4. 戦略・(2) ターゲット」からも重点地区と考える。</li> <li>●子供連れ比率 平成 29 年度日南市観光実態調査の指標を活用。</li> <li>●日帰り観光客滞在時間 平成 29 年度日南市観光実態調査の指標を活用。</li> <li>●体験プログラム数 平成 30 年度中に自主調査を実施しデータ分析を行い、平成 31 年から目標値を設定する。</li> <li>●体験プログラム利用者数 平成 30 年度中に自主調査を実施しデータ分析を行い、平成 31 年から目標値を設定する。</li> </ul>
--

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
H29 年度	21,844,875 (円)	(内訳の区分) 【収益事業収入】 7,201,546 円 (体験、キャンプ等売上) 【管理受託料収入】 4,490,769 円 (指定管理受託料) 【日南・串間市からの補助金】 10,152,560 円
H30 年度	34,500,000 (円)	(内訳の区分) 【収益事業収入】 9,025,000 円 【管理受託料収入】 10,800,000 円 (指定管理先の増加) 【日南・串間市からの補助金】 14,675,000 円

## (別添) 様式 1

H31 年度	22,385,000 (円)	(内訳の区分) 【収益事業収入】 11,000,000 円 【管理委託料収入】 10,800,000 円 【日南市からの補助金】 585,000 円
H32 年度	60,000,000 (円)	(内訳の区分) 【収益事業収入】 12,000,000 円 【管理委託料収入】 48,000,000 円
H33 年度	61,000,000 (円)	(内訳の区分) 【収益事業収入】 13,000,000 円 【管理委託料収入】 48,000,000 円

## (2) 支出

年度	総支出	内訳
H29 年度	21,588,101 (円)	(内訳の区分) 【販売費及び一般管理費】 7,055,312 円 【収益事業費】 4,380,229 円 【補助金事業費】 10,152,560 円
H30 年度	34,500,000 (円)	(内訳の区分) 【販売費及び一般管理費】 13,825,000 円 【収益事業費】 6,000,000 円 【補助金事業費】 14,675,000 円
H31 年度	21,000,000 (円)	(内訳の区分) 【販売費及び一般管理費】 14,000,000 円 【収益事業費】 7,000,000 円
H32 年度	58,000,000 (円)	(内訳の区分) 【販売費及び一般管理費】 50,000,000 円 【収益事業費】 8,000,000 円
H33 年度	59,000,000 (円)	(内訳の区分) 【販売費及び一般管理費】 50,500,000 円 【収益事業費】 8,500,000 円

### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・地域限定の旅行業を取得し、地域の観光事業者（ホテル・体験事業者に対して送客支援を行い、紹介料を一定額貰う。
- ・シーカヤックの事業など、体験商品を自主的に商品化。将来的には、地域を周遊する旅行ツアーの自主的な造成を行う。
- ・また、地域の観光事業における指定管理を一定受けることで運営資金を確保する

## 8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

宮崎県日南市串間市は、「株式会社 コーストライフ」を当該都道府県及び市町村における地域連携DMOとして登録したいので「株式会社 コーストライフ」の申請を支援します。

## 9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	田中 直人
担当部署名（役職）	株式会社コーストライフ
所在地	宮崎県日南市南郷町中村乙 4178-1
電話番号（直通）	0987-64-0002
FAX 番号	0987-64-0032
E-mail	naoto.tanaka@nichinan-kushima.com

## 10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	宮崎県日南市
担当者氏名	宇都 敬太
担当部署名（役職）	総合戦略課 地域政策係 主査
所在地	宮崎県日南市中央通 1 丁目 1-1
電話番号（直通）	0987-31-1128 内線 (3147)
FAX 番号	0987-23-1853
E-mail	k-uto_ni@city.nichinan.lg.jp

都道府県・市町村名	宮崎県串間市
担当者氏名	秋田 優
担当部署名（役職）	商工観光スポーツランド推進課 エコツーリズム推進室 主査
所在地	宮崎県串間市大字西方 5550
電話番号（直通）	0987-72-1111 (内線 268)
FAX 番号	0987-72-6727
E-mail	akita@city.kushima.lg.jp

## 【区域】

宮崎県日南市、串間市

【設立時期】平成29年9月1日

## 【代表者】

松尾 浩治

## 【マーケティング責任者】

田中 直人

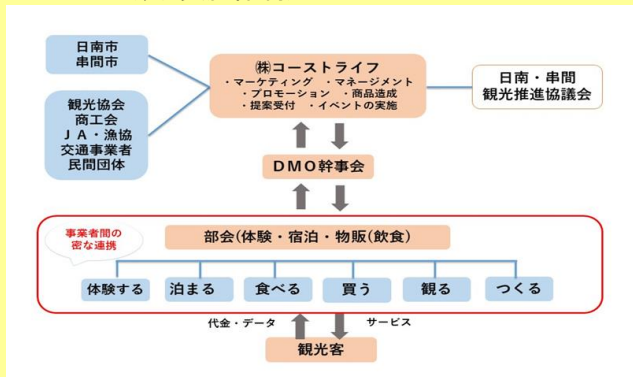
## 【職員数】

4名

## 【連携する主な事業者】

観光協会、旅館組合、商工会議所、商工会  
JR、漁協、jR九州、宮崎交通、体験事業者

(表:実施体制)



(表:KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
旅行消費額	日南市 2,240円	日南市 2,677円	日南市 2,063円	日南市 1,923円	日南市 2,540円
延べ宿泊者数	21,792人	24,118人	25,098人	22,012人	22,152人
来訪者満足度	非実施	非実施	非実施	72%	H30年調査 数値を基に 設定
リピーター率	日南市 75%	日南市 69%	日南市 74%	日南市 74%	H30年調査 数値を基に 設定

## 観光施設に対する取組

南郷エリアにはカツオ料理が美味しい港の駅めいつ、市境には道の駅なんごうが存在。なんごうは、ご当地の物産販売やマンゴーストクリームなどがあり観光客からの支持も高い。

## 自然に対する取組

宮崎県南で温暖な気候ということもあり、ジャカランダなど珍しい植物も生息

また、南郷エリアに本土から船で15分程度の場所に無人島の大島が存在。串間市には幸島という野生の猿が生息する島が存在。

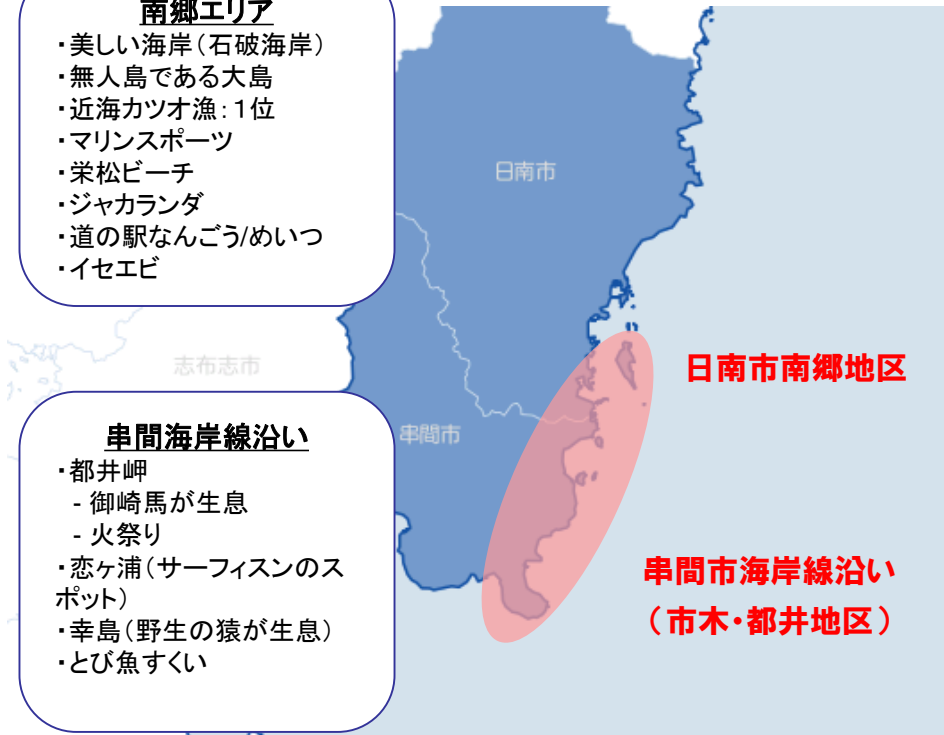
串間市では都井岬という野生の御崎馬の観測ができ串間市で最も人気の観光スポットとなっている。火祭り・馬追いなど定期的に歴史的なイベントも実施

### 南郷エリア

- ・美しい海岸(石破海岸)
- ・無人島である大島
- ・近海カツオ漁:1位
- ・マリンスポーツ
- ・栄松ビーチ
- ・ジャカランダ
- ・道の駅なんごう/めいつ
- ・イセエビ

### 串間海岸線沿い

- ・都井岬
  - 御崎馬が生息
  - 火祭り
- ・恋ヶ浦(サーフィスのスポット)
- ・幸島(野生の猿が生息)
- ・とび魚すくい



## 食の取組

綺麗な海がある本エリアでは、カツオ・イセエビ・ブリなど海の幸が豊富。最近では美々鰯というブランド化された鰯の販売や、トビウオ料理も有名。船の上からトビウオを捕まえる「トビウオすくい」は串間市の伝統行事となっている。また、海の幸以外にも、温暖な気候からマンゴーや柑橘類などフルーツも有名

## 体験に関する取組

綺麗な海の観光資源を活用したマリンスポーツがさかん。具体的には、サーフィン・シーカヤック・ダイビング・SUP・釣りなども挙げられる。恋ヶ浦を中心に、サーフィンスポットとしても人気が高い無人島大島では、コテージを借りてBBQなどを楽しむこともできる

最近では、両市を横断したサイクリングイベントなども開催されている